

JTB、地域産品開発サービス「ふるぽ CoLABO」第2弾を始動 ～広島市・広島女学院中学高等学校と、学生参加型の地域産品開発を推進～

株式会社 JTB は、新たな地域産品の企画開発から商品化・販売までを一貫して支援するサービス「ふるぽ CoLABO (ふるぽコラボ)」第2弾として、広島市・広島女学院中学高等学校と連携した産官学連携プロジェクトを開始します。

本取り組みでは、自治体(広島市)・教育機関(広島女学院中学高等学校)・地域事業者と連携し、学生の視点や感性を商品企画に取り入れながら、地域資源を活用した新たな産品の企画を行います。

地域の将来的な担い手となる若年層が地元産業や地域資源に主体的に関わることで、地域経済の持続可能性と次世代育成が同時に実現可能となる、産官学連携の取り組みです。

(ふるぽ CoLABO HP:https://j-furusato.com/furupo_colabo)



■取り組みの背景

JTB は 2014 年よりふるさと納税事業に取り組み、自治体・地域事業者とともに地域資源を生かした商品づくりやプロモーションを支援してきました。一方で、多くの地域においては、貴重な資源はあるものの、新しい発想や担い手不足、若年層が地域産業やものづくりに触れる機会の不足といった課題が顕在化しています。ふるぽ CoLABO では地域内の異なる事業者をつなぎ、双方の強みを生かした新たな地域産品の企画開発、ふるさと納税返礼品としての商品化、プロモーションまでを一貫してサポートしており、第一弾では大分県由布市において商品開発支援を行いました。

(https://www.jtbcorp.jp/jp/newsroom/2025/10/01_jtb_furupocolabo.html)

第 2 弾では、教育の現場と連携します。JTB は長年、教育旅行などさまざまな取り組みで学校と地域をつないできました。その知見やネットワークを生かし、広島女学院中学高等学校の生徒の皆さんと「つくる過程から若者が関わる地域産品開発」を実現することで、地域への当事者意識の醸成と、持続可能な地域経済モデルの構築に貢献してまいります。

■広島女学院中学高等学校について

広島女学院中学高等学校は、生徒自らの主体的・探究的な学びを通じて、一人ひとりが社会とつながりながら自ら考え、行動し、発信する力を育む教育を実践しています。本取り組みは、同校が大切にする「社会と関わるなかで学びを深める教育」と高い親和性を持っています。(HP:<https://www.hjs.ed.jp/>)



■本取り組みの特徴(産官学連携モデル)

1. 学生参画による商品企画・ストーリー開発

学生が地元で根差した企業の特徴を調査・学習し、その特徴を生かした新たな商品の企画立案を実施します。全5回の授業では複数回のワークを通じ、若年層ならではの視点で商品企画を行います。

2. 自治体・事業者・教育機関を「つなぐ、つくる、つなげる」

JTBは広島市ふるさと納税の中間支援事業者として、広島市、地域の事業者、教育現場それぞれの役割や立場を整理し、実社会と教育をつなぐ実践的な学びの場を創出します。これは、JTBグループの交流創造の源泉「つなぐ、つくる、つなげる」を実現する、社会課題を解決し、未来へつなげる取り組みです。

3. ふるさと納税を活用した社会実装

学生が企画した商品アイデアは、実際の地域事業者へプレゼンを実施。採用された商品はその後商品開発のプロセスを経て、将来的には地域産品としての販売、及び広島市ふるさと納税返礼品として全国へ発信を目指します。

学生のアイデアが「実際に選ばれる商品」として社会に出ることで、学びの成果を可視化するとともに、地域の認知向上・寄附拡大につなげます。

■「ふるぽ CoLABO」における JTB の役割

- 産官学連携プロジェクト全体の設計・運営・ファンリテートの支援
- 地域事業者と教育機関のマッチング
- 地域産品軸での新たな商品企画・開発支援とふるさと納税返礼品としての登録・販促支援

■今後の展開

JTBは「ふるぽ CoLABO」を通じ、地域事業者同士の連携・産官学連携による人材育成・ふるさと納税を起点とした地域価値の創出を推進します。

今回の取り組みをモデルケースとし、今後は他地域・他教育機関にも展開することで、「次世代とともにつくる持続可能な地域づくり」に貢献してまいります。

■報道関係の方からのお問合せ先

JTB 広報室 TEL 03-5796-5833 ※2026年5月1日(金)まで

代表メールアドレス jtb0074_all@jtb.com